

請願第27号：「都市経営局国際政策室長の罷免について」関連

中国語受講先の検討について

日中間の交流の進展や馬英九 台北市長（当時）から日中それぞれの言語によるスピーチ提案（H18.7）を受けたり、お礼状で再言及があったため、ホームページなどを中心いくつかの語学学校を調べたり、国際交流員（CIR）による指導を検討しましたが、実際には具体化しませんでした。（H18.8月頃）



本年1月中旬、中田市長より馬前市長提案のスピーチコンテストに関する中国語の学習について、その後の状況確認があったため、再度検討を行いました。



語学学校・関係団体のホームページやパンフレットなどを検討し、その結果、中国語受講の候補として、下記をリストアップしました。（国際政策室、秘書課）

- ①横浜中央YMCA 中区
- ②横浜日中友好協会 中区
- ③保土ヶ谷区国際交流コーナー 保土ヶ谷区
- ④社会保険横浜看護専門学校 南区
- ⑤国際政策室の国際交流員（CIR）活用

（学校など）①～④、（個人レッスン）⑤

ただし、選定に当たっては、下記の条件を重視しました。

- ・セキュリティの点から、不特定多数が出入りしない
- ・市役所からの移動距離が近い
- ・市長スケジュールは変更が多いため、相手方の理解・協力が得られる
- ・本格的な日常会話や趣味として中国語を学習するのではなく、短期で「発音」など基礎練習中心に行う

（また、再度、国際交流員（CIR）による「個人レッスン」を行うことを検討もいたしましたが、ある程度基礎が身についたほうが、効果的と考えました。）

最終的に、上記条件を満たし、学校側の協力も得られる「**社会保険横浜看護専門学校**」での受講を前提に、秘書課と調整の上、国際政策室が公務として事前調整を行いました。